

4月5日発売

いまの日本に向ける わたしの“忘備録”

コロナ禍で得た教訓
〈共に〉忘れてはならない！

八五歳からの日記

コロナ巣ごもりの記

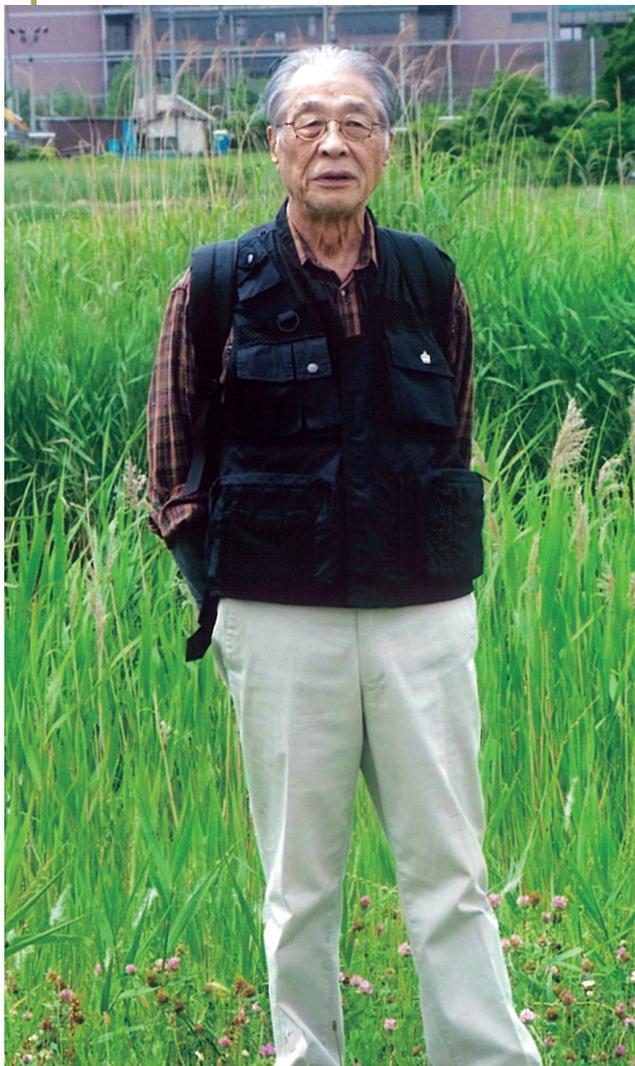
高野繁男 著

大空社出版刊

2019～2023
覚えているか
もう、忘れて
いないか?!

2019（令和元）年6月、「八五歳からの日記」として書き始めた。個人的には、後期高齢者のワクにいるので特別な役割はない。この「日記」も、日々のなかで特に印象に残ったこと、気になること、書き留めるべきことなどを綴ったもので、体裁も期日も不揃いで、毎日書く日記ではない。……当初の計画から思いもよらない方向に筆が進んだ。 **新型コロナウイルス感染症パンデミック**で、サブタイトル「巣ごもりの記」が中心になった。わたしは、この「巣ごもり」ということを聞いて心が動いた。老人だといって、日記であれ「楽しみ」だけを追うわけにはいかな。わたしも直接関係のあることだ。なぜ「巣ごもり」なのか。感染症において人と接触するのが一番危険だ。その点、家（巣）にいるのが一番安心である。

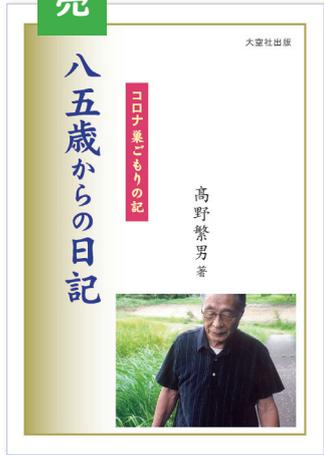
その「巣ごもり」が何を变えたか。私の場合は「巣ごもり」の体験が、かえって外のできごとに気を向けさせたことである。



(令和)天皇即位宣言
武漢〈新型肺炎〉発生
WHO パンデミック宣言
東京五輪1年延期・開催
緊急事態宣言
はやぶさ2・帰還
東電福島原発処理水海洋放出決定
ワクチン接種
藤井聡太・大谷翔平
菅首相退陣・岸田内閣発足
大阪ビル放火
露・ウクライナ侵攻
サッカーW杯
知床観光船沈没
熱中症救急搬送
安倍元首相狙撃死亡
東京五輪贈賄露呈
自宅療養
電力需給逼迫
エリザベス女王死去
ソウル・ハロウィーン雑踏事故
野球WBC優勝
パンダ中国へ帰る
コロナ「5類」感染症に移行

高野繁男著 八五歳からの日記 コロナ巣ごもりの記

4月5日発売



B6判・並製
〈日記170頁+忘備録15頁〉
978-4-86688-239-0
定価(本体1,400円+税10%)

この6月で満90歳

【著者】(たかの・しげお) 1934年生れ、第二次世界大戦中北海道旭川市で過ごす。神奈川大学名誉教授、日本語学。著書に『近代漢語の研究 日本語の造語法・訳語法』(明治書院2004)他。「濤」同人。

日本語 になった 西洋語 急増する カタカナ語

高野繁男 著

2011.5 大空社刊
四六判・198頁
978-4-283-00781-9
定価(本体2,500円+税)

●序：内の日本語 外の日本語(カタカナ語の急増は何をもたらすか) ●日常生活のことば(1956・1994年の調査、西洋語受容の転換、訳語の中の和製外来語) ●西洋文化の受容とことば(外国語の受容と訳語、蘭学から洋学へ) ●近代の洋学(幕末西洋語事情、初期英和辞典の展開、西洋語受容における漢語、漢字の効用) ●洋学書のことば(『明六雑誌』『百科全書』『哲学辞彙]) ●日中漢語の交流：日中同形語 ■図書資料略年表・用例の補充・索引



2013.3 大空社刊
B6判・176頁
978-4-283-00798-7
定価(本体1,600円+税)

●信州(会話・姥捨伝説考・直江津の海) ●顔(定年の感想・グローバル化の中で・生涯現役) ●臥酔(13年ぶりの中国・春節・杭州寧波/ライデン大学・オランダの絵画・ブリュッセルの酒場で・ネロとパトラスジュの散歩道) ●余滴(那覇マラソン70歳のランナー・第二次世界大戦中の日系アメリカ人強制収容所の人達・日本語の将来) など



2017.11 大空社出版刊
B6判・193頁
978-4-908926-35-8
定価(本体1,600円+税)

●歴史の背景・紀行(中国・内モンゴル・北海道・善光寺旧街道) ●戦後70年・平和(象徴天皇・知覧・無言館・墓と夫婦同姓) ●緑地という自然・野鳥(長田谷津・大柏川第一調整池緑地・温暖化) ●余滴(「モノゴト」における日本語の宇宙観) など
■写真カラー

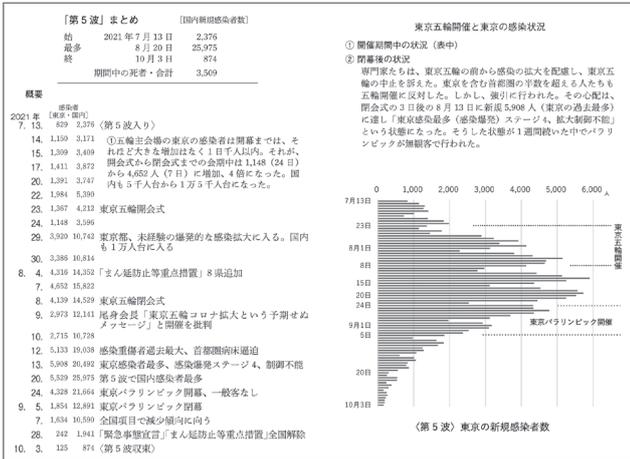
世界の都市封鎖が人々の交流を閉ざす
日本は政府の危機管理欠如から
ワクチンの弱者に
海外からの友人のメールは
死者が第二次大戦を超えたと伝える
巣ごもりの日々
ワクチン接種の外出でも気が晴れる
収束はいつ
わたしは心で祈る
巣ごもりから巣立つ日のくることを



筆者、千葉・市川市大柏川第一調整池 2021年9月

4月9日 木曜日
十野鳥撮影の仲間から電話
「足をくじいて自宅治療をしている。『外出自粛』は、いわれなくてもしている」
自嘲気味にかれは言う。
「鳥がない。おまけに望遠レンズが故障。わたしも外出自粛です」と応えた。
「でも、矢切の渡しのオバサギが気になるね」とわたし。

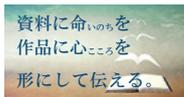
※主な国の外出禁止や外出自粛要請の内容
米国 カリフォルニアなど5州で事実上の外出禁止令や自宅待機令。ニューヨークでは美術館や博物館は閉鎖、ブロードウェイの各劇場も公演中止
英国 20日から英国名物のパブや劇場に閉鎖要請
フランス 17日から外出禁止令。全国で10万人の警察官が街頭で見回り
オーストリア 16日から外出禁止令。違反すると最高3600ユーロ(約43万円)の罰金
アルゼンチン 20日からの外出禁止令に従わなかった1200人以上を逮捕
オーストラリア 屋外500人以上の集まりを禁止。有名ビーチが閉鎖
韓国 21日に外出自粛要請。教会では「オンライン礼拝」に切り替える動き
タイ バンコク首都圏で18日からマッサージ店や映画館などを閉鎖。22日からショッピングモールも対象に
サウジアラビア ほぼ全てのモスクでの集団礼拝禁止。カフェなどの(水たばこ)禁止
日本 2月下旬以降、多数が集まるイベントの中止や延期を要請



東京五輪開催時〈第5波〉感染状況

忘備録
忘れてはならない!
日本のコロナ禍総括
安倍晋三元首相と「旧統一教会」
日本の安部転換三文書
原安帰政策
岸田文雄首相の「異次元の少子化対策政策」は相手が違う
内閣感染症危機総括庁の設置
政治家と専門家の関係

高野繁男 著



学術資料出版
大空社出版

www.ozorasha.co.jp

eigyo@ozorasha.co.jp

TEL:03-5963-4451 FAX:03-5963-4461

(〒114-0032) 東京都北区中十条4-3-2